

問1 日本の農産物輸入において、パンや麺類の原料となる小麦の輸入先として、上位3か国を正確に示している組み合わせはどれですか。 (2022年

兵庫県公立入試 類似)

1. アメリカ合衆国、中国、ブラジル
2. カナダ、オーストラリア、ロシア
3. アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリア
4. アメリカ合衆国、ブラジル、タイ

問2 日本の都道府県別の畜産物産出額の内訳において、肉用牛が約35%、鶏が約33%、豚が約28%と、肉用家畜の生産が非常に高い割合でバランスよく行われている鹿児島県について、このような産業が発達した背景として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)

1. 広大な十勝平野や根釧台地において、寒冷な気候を活かした大規模な酪農が展開されたため。
2. 火山灰が堆積したシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に適さなかった土地を活かして畜産業が発展したため。
3. 大消費地である東京に隣接しているため、生乳の鮮度を保ったまま出荷できる近郊農業として乳用牛の飼育が発展したため。
4. 中央高地の険しい地形を利用し、夏でも涼しい気候を求めて牛や羊の移動放牧が行われてきたため。

問3 中部地方の内陸部には、電子部品や精密機械の工場が数多く立地しています。これらの製品の特性と立地条件の関係について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 香川県公立入試 類似)

1. 製品の組み立てに膨大な電力を消費するため、山間部のダムに併設された水力発電所からの送電コストを抑える必要があるから。
2. 海外から輸入する重い原材料を大量に消費するため、内陸部の河川を利用した船舶輸送が発達しており、広い土地を確保しやすいから。
3. 製品が小型軽量で付加価値が高いため、高速道路を利用したトラック輸送に適しており、製造過程で澄んだ空気やきれいな水を必要とするから。
4. 中京工業地帯などの大規模な消費市場に隣接しており、製品を低コストで大量に運ぶための専用鉄道網が整備されているから。

問4 東京都中央卸売市場におけるピーマンの入荷状況をまとめた資料によると、一月から五月にかけては宮崎県産の入荷がピークを迎え、六月から十月にかけては他の産地の入荷が増えるという特徴があります。宮崎県がこのような出荷時期を選択している理由として最も適切な説明はどれですか。 (2017年 愛媛県公立入試 類似)

1. 冬の寒冷な気候を利用して作物を休眠させ、春以降の品質を高めるため
2. 夏の冷涼な気候を利用して、他の産地が収穫できない時期に生産を行うため
3. 大消費地に近い立地を活かして、輸送コストを抑えながら新鮮な状態で届けるため
4. 冬でも温暖な気候を利用して出荷時期をずらすことで、有利な価格で販売するため

問5 日本の農業において、農業就業者の減少と高齢化が同時に進行している背景や、その結果として生じている深刻な課題について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2016年 奈良県公立入試 類似)

1. 政府が農地の国有化を進めたことで、高齢化した農家から国へ土地の集約が進み、就業者1人あたりの生産性が飛躍的に向上した。
2. 高齢者の知識と経験を活かす仕組みが完成したため、労働力不足に関わらず国内のコメの生産量は過去最高を記録している。
3. 労働力不足を補うために外国人労働者の受け入れが急速に進んだ結果、日本の食料自給率(カロリーベース)は50%を超えた。
4. 農業所得の不安定さや労働環境の厳しさが若者の就農を妨げる要因となり、管理されない耕作放棄地の増加を招いている。

問6 日本の主要な農作物の都道府県別分布について、水稻の収穫量の特徴を正しく説明しているものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年

宮崎県公立入試 類似)

1. 高冷地農業が盛んな長野県や群馬県などの内陸の県が上位を占めている。
2. 新潟県や北海道のほか、秋田県や山形県などの東北地方が収穫量の上位を占めている。
3. 北海道が圧倒的なシェアを占めており、2位以下の都府県と大きな差がついている。
4. 和歌山県や愛媛県などの温暖な太平洋沿岸の県が上位の大部分を占めている。

問7 中部地方の各県における工業製品の出荷状況をまとめた統計において、製造品出荷額全体に占める「電子部品・デバイス」の割合が15%以上と高く、精密機械工業の伝統を背景に電子工業が発達している内陸の県として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 香川県公立入試 類似)

1. 愛知県
2. 静岡県
3. 長野県
4. 岐阜県

問8 日本の国内貨物輸送の推移において、1950年には全体の3割以上の割合を占めていた主要な輸送手段であったものの、1990年には1%程度にまでその割合が大きく低下した輸送手段として適切なものはどれか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)

1. 鉄道による輸送
2. 航空機による輸送
3. 船による輸送
4. 自動車による輸送

問9 兵庫県から大阪府の臨海部に広がる阪神工業地帯の産業構造の変化について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)

1. 愛知県を中心とした自動車産業の圧倒的な集積により、現在、工業出荷額が日本で第1位となっている。
2. 首都圏の巨大な消費地を背景として発展し、現在は印刷業や食料品工業が全国で最も高い割合を占めている。
3. かつては繊維工業が中心であったが、現在は金属、機械、化学工業などの重化学工業へと転換し、多様な産業が集積している。
4. 明治時代の官営八幡製鉄所の設立をきっかけに鉄鋼業が発展したが、現在はIC(集積回路)などの先端技術産業に特化している。

問10 名古屋港の貿易統計において、輸出額に占める自動車の割合が非常に高い数値を示している理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年

京都府公立入試 類似)

1. 内陸部で生産される電子部品を、高速道路を利用して空港へ運ぶための中継地点として整備されているため。
2. 背後地である中京工業地帯に、世界的な規模を持つ自動車産業の工場が集積しているため。
3. 古くから繊維工業が盛んな地域であり、その技術を応用した最新の航空機部品を主要製品として輸出しているため。
4. 海外から輸入した原油を港の周辺で精製し、付加価値の高い石油製品として輸出する拠点となっているため。

問11 群馬県の嬬恋村では、7月から10月にかけてキャベツの出荷が集中しています。千葉県銚子市などの平地と比べて夏の気温が大幅に低いという気候条件を活かしたこの取り組みについて、正しい説明を選びなさい。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)

1. ピニールハウスなどの施設を用いて人工的に温度を上げ、成長を促進させている。
2. 大消費地に近い利点を活かし、鮮度を保ったまま短時間で市場へ輸送している。
3. 標高が高い地形による涼しさを利用し、キャベツが熱に弱い特性を補っている。
4. 冬の温暖な気候を利用して、他の地域よりも収穫時期を大幅に早めている。

問12 経済連携協定(EPA)を結ぶことは、日本企業が相手国に進出する際にも有利に働きます。現地に日本企業が進出し、雇用を生むことで得られる日本側の利点や、国際協力としての側面を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)

1. 日本国内の失業率を下げるために、すべての生産拠点を海外へ統合できる
2. 相手国の政府に資金援助を行う代わりに、日本独自の規格を強制できる
3. 相手国の関税を引き上げることで、日本製品の国際競争力を高めることができる
4. 現地での雇用を通じて、日本の優れた技術を現地に普及させることができる